

平成30年度
三好市歴史的風致維持向上計画
(進捗評価シート)

三好市

平成30年度進捗評価シート
三好市歴史的風致維持向上計画（平成22年11月22日認定）
（最終変更平成26年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画調整担当部署と事業担当部署の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用と景観条例の運用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 阿佐家住宅保存修理事業	3
2 山下家別邸保存修理事業	4
3 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業	5
4 三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業(屋根塗替)	6
5 文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		
西祖谷の神代踊	7
襖からくり公演会	8
三好市プチガイド養成講座	9
祖谷の蔓橋架け替え資材確保と育成活動	10
にし阿波体験プログラム	11
祖谷の粉ひき節日本一大会	12
地元産材(茅)確保「ふるさと文化財の森」	13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用について、文化財の修理(整備)について	14
2 文化財の保存・活用を行うための施設について	15
文化財周辺の環境保全について、文化財の普及・啓発について		
3 文化財の防災について、埋蔵文化財の取扱いについて	16
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 こいのぼり大歩危峡彩る	17
2 サギソウの花楽しみ ほか	18
3 30回記念大会WWAウエイクボード世界選手権大会	19
4 箸蔵寺初詣華やかに	20
5 県内3件国登録文化財 文化審答申 ほか	21
6 古里池田の歴史城跡訪ね楽しむ ほか	22
7 杯重ねこぼれる笑顔 三好で四国酒まつり	23
8 三好の魅力 鮮やかに	24
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 文化財の魅力に繋がる取り組み	25

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	26
--------------------------------	-------	-----------

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
計画調整担当部署と事業担当部署の連携			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	事業実施に向けての三好市歴史的風致維持向上計画協議会、三好市文化財保護審議会、三好市伝統的建造物群保存地区保存審議会との連携を深め、円滑な事業の推進を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
計画実施体制に変更はなく、計画調整担当部署と事業担当部署の連携の下、事業が推進されている。円滑な事業推進を図るため、法定協議会の三好市歴史的風致維持向上計画協議会(平成30年5月9日)において、平成30年度計画について意見を伺った。また三好市文化財保護審議会(平成30年6月4日・平成31年2月27日)を開催し市指定文化財への指定及び追加指定や、三好市歴史的風致維持向上計画第2期について審議を行い意見を伺った。また他の観光イベント事業(阿波踊り等)においても連絡・調整等を行ったことで連携強化が波及した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		計画期間に基づき掲載事業に順次着手しているが、事業ごとに様々な課題が生じており、より密な関係部局との連携が必要である。重点区域内における新たな事業展開が検討されており、歴まち計画との調整が課題となっている。計画期間及び重点区域の見直し、歴史的風致形成建造物の追加指定、歴まち計画関連事業の再要望等について関係部局との協議を進め、近く対応方針をまとめる。	

状況を示す写真や資料等

【三好市歴史的風致維持向上計画協議会の開催】

- 開催日 H30. 5. 9開催
- 開催場所 三好市池田保健センター
- 主な議事
 - ・平成29年度分の事業の進捗状況について
 - ・平成30年度分の事業について



【三好市文化財保護審議会の開催】

- ◎開催日 H30. 6. 4開催
H31. 2. 27開催
- 開催場所 池田中央公民館
- 主な議事
 - H30. 6. 4
 - ・平成29年度事業報告について
 - ・平成30年度事業計画(案)について
 - H31. 2. 27
 - ・三好市文化財指定、追加指定について
 - ・文化財指定答申について
 - ・三好市歴史的風致維持向上計画第2期について
 - ・その他



評価軸①-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

地域それぞれが持つ様々な種類の資源による独自の景観特性をはじめ、既存の法規制等の状況に応じたきめ細かく実効性の高い景観づくりを図るため、5つの区分(ゾーン)分けにより定める基本方針に基づき区域内の行為の制限や良好な景観誘導を図る。特に歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域を「歴史的風致ゾーンⅠ・Ⅱ」として、その特性に応じた景観保全整備に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市では、「歴史的風致維持向上計画」の認定に伴い、平成23年3月「景観計画」の策定、同年6月に「景観条例」の制定、平成24年4月1日に景観条例を施行した。その後、景観パンフレット作成、建築関係業者説明会開催など景観形成重点地区設置に向けての調査・説明会の開催や、景観計画区域内で工作物の新設等の行為に関して協議を求める区域を新たに設定した。景観重点区域である祖谷では景観に配慮したガードレールの古色塗装を行う修景が行われた。重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」においては保存修理事業(平成30年度5棟)を実施した。平成28・29年度には、重点区域のまちなみ環境整備の一環として「阿波池田うだつの町並み」、「井川町の辻の町並み」において未指定文化財25件を国の登録文化財へ登録した。また平成30年度は、重点区域である祖谷地区において、未指定文化財7件を国の登録有形文化財へ登録した。

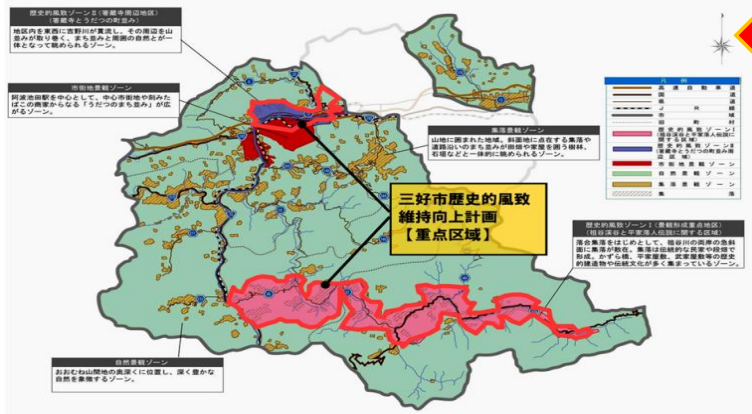
進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

本市の景観計画は、市民、事業者、行政、三好市を訪れる方など関係者が一丸となって良好な景観づくりに取り組むことを目指している。そのため届出対象行為外への誘導が課題となる。今後においても、関係者への周知徹底を図るため継続的な啓発活動を行う。

状況を示す写真や資料等



特に三好市歴史的風致維持向上計画で設定する重点区域の「祖谷溪谷と平家落人伝説に関する区域」を「歴史的風致ゾーンⅠ」に、「箸蔵寺とうだつの町並み周辺区域」を「歴史的風致ゾーンⅡ」に設定し、三好市歴史的風致維持向上計画と連携した良好な景観形成を図ることを目指している。



【三好市景観計画区域のゾーン分け(区分別)】

【三好市景観計画書】

【ガードレール古色塗装による修景】

重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」において、昨年度対岸からの景観保全としてガードレールの古色塗装を試験的に実施したところ、対岸からの景観に良好な効果があったため、本年度は保存地区全域のガードレール古色塗装を行った。



重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」



対岸からの景観および道路景観を良好にみせるための古色塗装されたガードレール

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
阿佐家住宅保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成29年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)

計画に記載している内容 阿佐家住宅(平家屋敷)の建物を購入し、解体、復原修理を実施する。敷地は、元所有者からの借地による。完成後は、周囲の建物、屋敷林、庭園等を市の公開施設として一般公開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成24年度において、主屋の売買契約締結、仮設・解体工事の実実施設計作成、平成25年度では、主屋の仮設工事、工所用仮設住宅の建設、平成26年度においては、主屋の解体工事(平成25年度繰越事業)、復原工事実施設計作成を行った。また、阿佐家住宅が徳島県指定有形文化財であることから、関係機関(県文化財保護審議会、県教委等)と協議を行い、平成27年度、平成28年度で主屋の復原工事を行った。平成29年度は周辺の外構工事を行い2月末に完工し、一般公開している。平成30年度の来訪者数は約1,000人。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	祖谷平家伝説ゆかりの地であり、代々受け継いできた歴史的建造物(文化財)であることから買取り協議や設計協議に時間を要したため、事業全体の進捗が遅れ、事業期間を25年度末から29年度末まで延伸した。延伸した計画の中では計画的に事業が実施されて計画通り完工した。昨年度から一般公開を行っているが、今後維持していくために活用方法をさらに考えていかなければならない。

状況を示す写真や資料等

【復元後】



【配置図】

※赤線:新たな観光導線



【外構工事完工】

【全景】



【観光導線】



【水路】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
山下家別邸保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成28年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備総合事業)

計画に記載している内容 辻地区で空き家となっている伝統的な町並みを改修整備し、来訪者と地域住民との交流施設や伝統的な町並みを紹介する情報館としての活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成26年度に所有者協議を進め、建物の改修整備計画を作成する予定であったが、関係機関との協議の結果、現行の「街なみ環境整備計画」を計画期間内に変更し、当該事業を盛り込むことが困難になったため、当該事業を継続協議することとした。更に平成27年度では、景観保全も含め、町並み調査をもとに、町並み紹介のための町歩きガイドブックを作成した。また、山下家別邸は平成29年度に国登録有形文化財として登録され、平成30年度には所有者から寄付していただき、公有化された。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	修理計画を検討する中で、所有者負担(自己負担分1/3相当額)の負担が困難な状況になったことにより、事業実施が進んでいない。平成25年度に地域住民ボランティアで一部内部を修理再生し、地域活性化拠点施設として多く活用されており、今回「国の登録文化財」として登録され更に地域の宝となった。修理事業が進まず傷みだけが進んでいる状況であったが、平成30年度には公有化され、今後は保存していくための活用方法を検討すると同時に、修理を実施する計画をたてる必要がある。

状況を示す写真や資料等

【平成25年 山下別邸再生に向け古民家再生ワークショップ】



【山下別邸活用状況】

【農産市】



【活用計画談話会】



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成30年度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理工費国庫補助		
計画に記載している内容	保存地区の住宅15件の保存修理を実施する。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度は下記5件の修理修景が実施された。(平成22年度からは今回5件を含めて24件が実施され、計画された15件は修理修景が行われた。)

- 中内家石垣修理(環境物件である石垣を修理)
- 東家隠居屋修理(平成27年度の主屋に引き続き、隠居屋を修理)
- 藤本家主屋背面修景(平成29年度の主屋前面に引き続き、背面を修景)
- 藤本家納谷修景(平成29年度の主屋に引き続き、納屋を修理)
- 津山家修景(旧祖谷街道沿い(国道439号線)にある旧商屋であった家の修景)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

計画された15件の保存修理事業を進めてきたが、その間に少子高齢化等により、空き家となった建造物が多くある。これらの建造物にうちは費用負担や管理面の問題から保存修理の理解が得られにくい。引き続き所有者や管理者に対し、保存修理を行うことによって地区内の景観が向上し、地域の知名度の向上等多くの向上効果が得られることを説明しこれまで保存修理されてきた所有者と行政で理解や協力を求めていく取り組みが次期計画で必要。

状況を示す写真や資料等

【中内家石垣】

【修理前】



【修理後】



【津山家】

【修理前】



【修理後】



評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
三好市東祖谷山村落合伝統的建造物群保存地区景観改善事業(屋根塗り替え)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度～平成30年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	保存地区の建造物の屋根の塗り替え及び張り替えを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
保存地区内にある個人所有建造物を対象に屋根の塗り替え及び張り替えに対する助成を行い、景観改善が図られた。 平成30年度:1件2棟の塗り替えを実施(平成22年度からの実施により、39件76棟が実施された。)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		景観に配慮した屋根の塗り替えが順次進み、効果が表れているが、地区内には塗替えを終えていない建造物が残っている(主に国道沿い)。引き続き、所有者や管理者に地域の知名度の向上等多くの向上効果が得られることを説明し、理解や協力を求めていく取り組みが次期計画が必要。	

状況を示す写真や資料等

【屋根塗り替え前】

【屋根塗り替え後】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 実行委員会単独事業

計画に記載している内容 平家落人伝説を題材とした武者行列、西祖谷の神代踊(重要無形民俗文化財)等、民俗文化財の公開

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

西祖谷神代踊り／重要無形民俗文化財である「西祖谷の神代踊」は、保存会が毎年旧暦6月25日に天満宮で奉納されてきたが、近年の高齢化による踊り手不足に悩まされてきた。今回は昨年度、総合学習の一貫として練習から本番まで参加していただいた、地元小学生に平成30年度も参加していただき、当日は賑わいを見せた。

また、昨年度卒業した生徒も、自ら参加してきたことから、郷土愛の育成に繋がっていることが考えられる。

開催日：平成30年8月6日 会場：天満宮(西祖谷山村) 参加児童数：23 観客数：約100名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

年々子供の減少により、休廃校が進む中、今回の取り組みは互いが残していくための取り組みで、過去の賑わいが取り戻せたこと、また貴重な文化財を残すことへの考え方も併せて取り戻すことができた。今後も引き続き行うことが文化財保護や西祖谷全体の保護に繋がることを伝えていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

【地元小学生の参加により賑わいを見せた、西祖谷の神代踊】



評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成22年度から平成30年度		
支援事業名	保存会単独事業		
計画に記載している内容	市の有形民俗文化財「襖絵」と多彩な郷土芸能の公開		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
襖からくり公演会／西祖谷山村で市指定有形民俗文化財に指定されている「後山からくり襖絵」(後山地区)と「徳善からくり襖絵」(徳善地区)を保存・継承する地元保存会が襖からくりの公演会を開催し、伝統文化の継承や文化財保護への啓発が図られた。 開催日:平成30年11月26日 会場:後山農村舞台、観客数:約50名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		高齢化に伴う後継者不足が一番の課題となっており、今後の育成には地元小中高生への啓発活動に力を注いでいくことが必要。	

状況を示す写真や資料等

【襖からくり公演 後山農村舞台】

後山は襖絵9枚が1組からなり、伝統的な操作技術によって、襖絵が左、右、縦、横、斜めに巧みに回転し、図柄が次々と変化していく。



地元小学生による襖からくりの操作

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域の実情に応じ保存継承に向けた積極的な支援を行うとともに関係機関と連携し、文化施設等を活用したイベントの開催により公開の機会を提供しその活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

三好市プチガイド養成講座／三好市の良さを再度・新たに発見し、人に自慢してもらおう「プチガイド」の養成講座を開講。ガイドに興味のある方や、自分達の住む地域のことを詳しく知りたい方々が参加したことから、毎回予定されている時間を超える実りのある講座となった。
 開催日：平成30年5月26日から平成30年7月7日までの間に7回開催 会場：池田町 参加人数：約30名

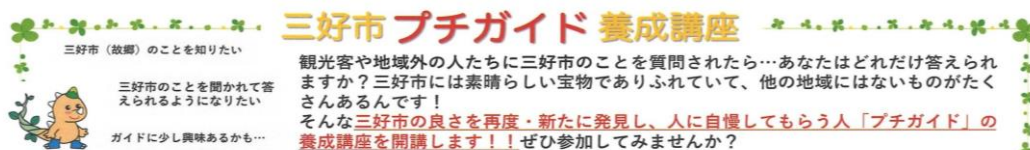
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今講座を実施したことによって、各エリアの歴史や文化を、「より知りたい」きっかけづくりとなった参加者も少なくない。主催する側としては、今後も引き続き積極的に実施し、普及啓発に取り組んでいく方針である。

状況を示す写真や資料等

【三好市プチガイド養成講座】



三好市プチガイド養成講座

観光客や地域外の人たちに三好市のことを質問されたら…あなたはどれだけ答えられますか？三好市には素晴らしい宝物でありふれていて、他の地域にはないものがたくさんあるんです！
そんな三好市の良さを再度・新たに発見し、人に自慢してもらおう「プチガイド」の養成講座を開講します！！ぜひ参加してみませんか？

開催場所：		スケジュール：		主催：一般社団法人三好市観光協会	
三好市教育委員会1階会議室		講座日時		回目	内容
※講座の開催場所は講座によって変更する場合があります		昼の部 (土曜)	夜の部 (水曜)		
開催期間：2018年5月中旬～7月上旬 (右記スケジュール参照)		5月26日 10:00-10:55	5月16日 19:00-19:55	1	人とコミュニケーションしてみよう
※昼の部と夜の部どちらでもご参加できます		5月26日 11:05-12:00	5月16日 20:05-21:00	2	三好市ってどんなところ？(ワークショップ)
※1コマ55分です		6月2日 10:00-10:55	5月30日 19:00-19:55	3	自然を知ろう！(三好市の大地について)
※昼・夜講座問わず計10講座受講すると、最後に「プチガイド」修了証＆プチガイド認定バッジを授与！		6月2日 11:05-12:00	5月30日 20:05-21:00	4	自然を知ろう！(三好市の生物について)
※各講座の日程は変更する場合があります		6月16日 10:00-10:55	6月13日 19:00-19:55	5	三好市の歴史文化 (三野・井川バージョン)
対象：どなたでもOK!! (男女・年齢問わず、三好市内外どなたでもOK!)		6月16日 11:05-12:00	6月13日 20:05-21:00	6	三好市の歴史文化 (池田・山城バージョン)
費用：無		6月30日 10:00-10:55	6月27日 19:00-19:55	7	三好市の歴史文化 (西・東祖谷バージョン)
初回参加申し込み締め切り：2018年5月11日(金)		6月30日 11:05-12:00	6月27日 20:05-21:00	8	学んだことを伝えてみよう(ワークショップ)
申し込み・問い合わせ：三好観光協会 (TEL:0883-76-0877)		7月7日 10:00-10:55	7月11日 19:00-19:55	9	人とコミュニケーションを深めるヒント
		7月7日 11:05-12:00	7月11日 20:05-21:00	10	講座のまとめと今後の話 (修了証授与)

多くの参加申し込みがあり、各エリアの歴史や文化に関心を寄せていた。



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 市委託事業

計画に記載している内容 シラクチカズラの植栽と保護活動

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

蔓橋架け替え資材の確保と育成活動/地元実行委員会の「祖谷のかずら橋架け替え資材確保実行委員会」が主体となり、重要有形民俗文化財「祖谷の蔓橋」の架け替え用資材となるシラクチカズラの保護や育成のための活動を実施し、文化財保護活動と地域資源を活用した啓発事業が図られた。地元小規模校の合同活動の一環として小中生18人が参加した。
開催日:平成30年7月19日 会場:祖谷ふれあい公園 参加者数:小学生4名・中学生14名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

祖谷の蔓橋の資材確保に向けた調査研究や育成活動が進められ、一定の効果がみられており、今後も引き続き事業を行う。今後は事業を行っていく中で、学術的な内容についても子供達に伝えていくことが必要。

状況を示す写真や資料等

【西祖谷小中学生とのシラクチカズラの苗木づくり(平成30年7月19日)】



【苗木植樹場所保護ネット張り(平成30年11月4日)】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度から平成30年度

支援事業名 社団法人主催事業、市委託事業

計画に記載している内容 池田町、井川町、祖谷地区の伝統的地域資源の発掘とガイド育成

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度も、徳島県西部地域全体を会場とした体験プログラムイベント『あわこい〜にし阿波で濃い時間〜』による「町並み散策ツアー」「郷土料理体験」「秘境撮影めぐり」が開催された。池田町と辻町のガイド案内による町並み散策、祖谷地方にて郷土料理体験や秘境撮影めぐりが開催され、地域資源の活用とガイド育成が図られた。

開催日：平成30年11月23日～平成31年2月14日 開催場所：池田の町並み、辻の町並み、祖谷地域

開催内容：町並み散策、郷土料理作り体験、秘境撮影スポットめぐり

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

近年は定期的な開催となっており、参加者も全体で見れば安定的なものとなっているが、内容によって参加者が少ないものも見られる。今後、継続的なものにするために各プログラムの見直しを行うとともに、継承者の育成を行うことが急務となっている。

状況を示す写真や資料等



【にし阿波体験プログラムイベントに盛り込まれた三好市】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度から平成30年度		
支援事業名	市委託事業		
計画に記載している内容	伝統芸能の継承を図るための用具整備・公開事業の支援		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
三好市祖谷地方の民謡「祖谷の粉ひき節」の歌唱力を競う大会を開催し、伝統芸能の継承が図られた。 開催日 平成30年10月6日・7日 会場:東祖谷伝習ホール 参加人数:約50名 観客数:約100名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		市内で大切に保存・継承されている民俗芸能の掘り起しと、少子・高齢化等による後継者不足により、保存継承が次第に難しくなっている。用具・衣装の修理に関しても会員減少などで保存会の自主的な活動が困難となっている。このため、市(県・国)による支援が一層必要である。また、保存会の活動自体も現在停滞している団体があり、今後事業の実施が困難な事例も発生しており、今後の活動動向について協議を行っていくことが必要。	
状況を示す写真や資料等			

【祖谷の粉ひき節日本一大会(平成30年10月6日・7日)】



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度 現在の状況
文化財保護活動、地域資源を活用した啓発事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度から平成30年度

支援事業名 市委託事業 ふるさと文化財の森 茅場管理事業の実施

計画に記載している内容 地元産茅材の確保を図るための管理事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

茅葺き古民家の屋根用資材となる地元産茅材の安定供給を図るため、平成26年度において「ふるさと文化財の森」として設定された京柱峠の茅場の一斉刈り払いを実施した。刈り取った茅の有効活用を図るため、祖谷茅刈り保存会により5尺メに選別した茅材を保管した。(設定地:京柱峠(標高約1,000m) 刈取日:平成30年12月1日~15日 刈取面積:約1ha 成果数:150束(5尺縮))
 今回、本市にある観光施設「喜多家住宅」の屋根の葺き替えを施工するにあたり、茅材の供給を行った。
 今後も継続的に茅材の確保を行い、当市の茅葺き屋根の葺き替え及び市外、県外の文化財建造物の修理に役立てるよう、各自治体と連携し取り組みを実施していく。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	茅材の安定確保には、多少の時間を要することとなるが、後継者の育成をはじめ、中長期的な視点から継続的な取り組みが必要である。また、資材確保と共に資材の有効活用を図るため、今後は地元で茅葺き保存会を立ち上げ、計画的な確保及び活用について考えていくことが必要。

状況を示す写真や資料等

【文化庁設置「ふるさと文化財の森」において、収穫された茅を保管庫へ約150束を搬送。



【屋根材へと生まれ変わった茅、観光施設「喜多家住宅」の屋根葺き替えに使われる。平成30年12月下旬】



【「喜多家住宅」茅葺屋根葺き替え完工。平成31年3月】



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

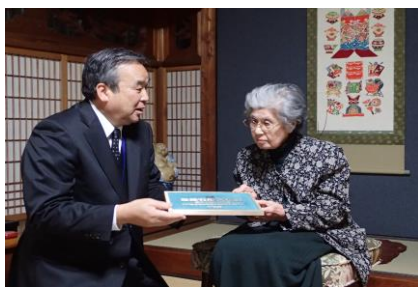
項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について ●文化財の修理(整備)について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	・市内の未指定文化財の調査を行い、文化財登録制度の活用を含め、文化財保護の措置を進める。 ・指定・登録を行った文化財は保存状況を把握し、良好な保全が図られるよう保存団体等に適切な指導・助言を行う。 ・老朽化が進む建造物は、補助金制度を活用した改修事業を実施するなど、所有者に対し支援を行う。 ・市内の公開施設の整備と展示物の充実を図り、有効的な文化財の活用を進める。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用について 登録有形文化財への指定に向け祖谷地区の近代和風建築や古民家の調査を実施し、栗尾邸他6件の建造物が本年度内に登録された。また、各地域に受け継がれてきた貴重な遺産(未指定文化財)の保存・活用の一環として、平成31年3月31日に「地域のたから」登録要綱の設置を行った。 ●文化財の修理(整備)について 伝統的建造物群保存地区保存修理、伝統的建造物群保存地区修景事業(P5、6参照) 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査の進捗とともに、協議が必要となる事案が多く時間を要するため、人的資源不足が出てきている。効率的な事業執行のための専門的な人的資源を考えることが必要。	

状況を示す写真や資料等

【県内5件国登録文化財(徳島新聞 平成31年3月19日)】 【県内3件国登録文化財(徳島新聞 平成30年11月17日)】



【登録文化財プレート及び証書伝達式】



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について ●文化財周辺の環境保全について ●文化財の普及・啓発について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物の公開に努め、交流施設としての活用を推進する。 ・文化財及び歴史的風致の普及啓発を図るための回遊性を高める案内標識、説明板等を整備する。 ・文化財と農村集落が一体となった良好な環境の畑地や森林の保全に努める。 ・文化財に親しんでもらうためのパンフレットやマップ作成等を推進する。 	定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の保存・活用を行うための施設について 重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」へ訪れる観光客に対し、レンタサイクルを実施し保存地区内の散策の充実化を図った。 ●文化財周辺の環境保全について 未指定文化財の調査を3件行い、指定及び登録文化財に向けた取り組みを行った。 ●文化財の普及啓発について 市ホームページを活用した情報発信を行った。 ●伝統的建造物の公開と交流施設としての活用 旧真鍋家住宅(阿波池田たばこ資料館)の公開、山道家別邸を交流施設(商業施設等)としての活用、重伝建落合地区での交流施設(宿泊施設)の活用を行った。 		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市域に点在する文化財は、合併時よりおよそ30件増加し全体で約150件となった。これから人的資源が不足するなか、これらを今後保護及び活用していくにあたり、どのように保護、活用をしていくべきか計画(方向性だけでも)することが必要。	

状況を示す写真や資料等

【未指定である歴史的建造物を保存保護するための、指定及び登録文化財への取組み】



市指定文化財へ指定するための悉皆調査

【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」散策用レンタサイクル用自転車購入】



評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成30年度 現在の状況
<ul style="list-style-type: none"> ●文化財の防災について ●埋蔵文化財の取扱いについて ●市町村の教育委員会の体制について ●保存・活用に関わる各種団体について 		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・三好市地域防災計画に基づき、消防本部、各地区消防団及び自主防災組織を連携させ、文化財等を災害から保護することを推進する。
- ・包蔵地について、所在、範囲、現況を適切に把握し、関係事業課、開発事業者に埋蔵文化財の保存と保護についての啓発を推進する。
- ・三好市文化財保護審議会、伝統的建造物群保存地区保存審議会を設置し保存の重要事項の審議を行い、行政部局に学芸員等専門的な職員配置を検討する。
- ・担い手不足である無形の民俗文化財等保存団体に対して、組織運営補助や用具の整備支援を行い、組織の維持と担い手の育成及び基盤整備の支援を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●文化財の防災について
 国指定重要文化財の防火設備への補助、消防団及び自主防災組織による合同訓練を行った。
 ●保存・活用に関わる各種団体について
 文化遺産を活かした地域活性化事業として、組織の維持と担い手育成を図るための団体運営補助金の継続を行った。(20団体)
 池田町及び井川町の「うだつの町並み」まち歩きマップを増刷し、観光施設のみならず周辺の店舗等に置き普及啓発を行った。また、マップに記載されている文化財建造物をガイド団体による案内を行った。他にも文化財建造物を活用したイベント等を積極的に行った。
 ●埋蔵文化財の調査について
 平成30年度は4件の開発行為(一般住宅建築)により発掘届が提出され、試掘が実施されたが遺構・遺物は確認されなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財等の防災設備が未整備の状況となっている。このため、施設の所有者に対し、早期の設備整備に向けた理解と協力を得るための継続的な働きかけが必要。 ・文化財の保存活用を進めるには、所有者や地域だけでなく、関係団体との連携も重要であるため、関連事業の情報提供や活用に向けた方を考えるための意見交換や情報交換を継続的に行う必要がある。 ・埋蔵文化財は、土地所有者をはじめ関係事業課及び関係事業者の理解を得るのに時間がかかる。埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちがわかる歴史的財産であることを理解してもらい、関係者の協力を得るための継続的な働きかけが必要。

状況を示す写真や資料等

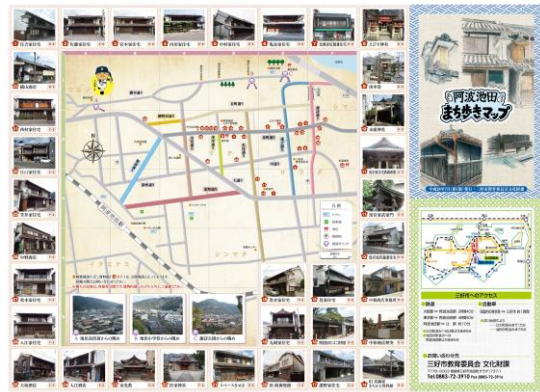
【重要伝統的建造物群保存地区「三好市東祖谷山村落合」での消防団及び自主防災組織との合同訓練の実施】



【タバコ産業で栄えた池田町の市指定文化財「真鍋家住宅」での、刻みタバコの道具について、説明及び実演(平成30年2月23日)】



【阿波池田・井川町社の「うだつの町並み」まち歩きマップの増刷】



評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度 平成30年度 掲載紙等
こいのぼり大歩危峡彩る	H30.4.25	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、当イベントは37年目を迎え国の天然記念物及び名称「大歩危小歩危」の風物詩となっており、近年では外国人観光客の関心も高まり、遊覧船の乗船後、ビューポイントとして人気を得ている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【こいのぼり大歩危峡彩る(平成30年4月25日)】



評価軸⑤-2
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度 掲載紙等
サギソウの花楽しみ	H30.6.8		徳島新聞
サギソウ「羽」広げる	H30.8.2		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、県指定天然記念物である黒沢湿原では、サギソウのみならず他の希少植物の保護活動にもつながっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【サギソウの花楽しみ(徳島新聞 平成30年6月8日)】

【サギソウ「羽」広げる(徳島新聞 平成30年8月2日)】

評価軸⑤-3

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度 掲載紙等
30回記念大会WWAウェイクボード世界選手権大会	H30.8.30～9.2		各報道機関

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昨年開催されたラフティング世界大会に引き続き、ウェイクボード大会が開催された。会場は、徳島県を代表する全長194kmの吉野川の池田湖で開催された。大会には34ヶ国147人の選手が参加し、4日間の観戦数は1万人以上が訪れた。選手や観覧者の中には、最寄りの文化財である「うだつの町並み」や天然記念物及び名勝「大歩危小歩危」へ足を運び、三好市の歴史文化に触れていた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【30回記念大会WWAウェイクボード世界選手権大会(平成30年8月30日～9月2日)】
 世界34ヶ国147名が参加



【大会場、池田湖】



評価軸⑤-4
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
箸蔵寺初詣華やかに	H30.12.30	平成30年度	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、重要文化財でもある箸蔵寺の参拝客の安全性が確保された。またLED照明のため文化財建造物への負担も少ないため安心して使用できる。また違和感のない光環境が参拝者から好評を得ていた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【箸蔵寺初詣華やかに(徳島新聞 平成30年12月30日)】



評価軸⑤-5
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度 掲載紙等
県内3件 国登録有形文化財	H30.11.17		徳島新聞
県内5件 国登録有形文化財	H31.3.19		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、本市では茅葺屋根(トタン葺きも含む)を有する古民家が初めて登録され、地元住民をはじめ、観光客からの関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
☑計画の進捗に影響なし

歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【県内5件国登録文化財 文化審査申 (徳島新聞 平成31年3月19日)】

【県内3件国登録文化財 文化審査申 (徳島新聞 平成30年11月17日)】

評価軸⑤-6
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	掲載紙等
古里池田の歴史城跡訪ね楽しむ	H31.2.1	平成30年度	徳島新聞
大歩危祖谷観光PRベスト100	H31.2.6	平成30年度	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、城跡を訪ねるイベントでは小学生だけでなく教職員も関心を高めていた。「大歩危祖谷ナビ」の多言語化対応では、多くの外国人観光客から人気があり、観光モデルコース等が見られることからアクセス数は増加している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【古里池田の歴史城跡訪ね楽しむ(徳島新聞 平成31年2月1日)】



【大歩危祖谷ナビ観光PRベスト100(徳島新聞 平成31年2月6日)】



評価軸⑤-7

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度 掲載紙等
杯重ねこぼれる笑顔 三好で四国酒まつり	H31.2.24		徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、当イベントを実施することにより、当市にある3つの酒蔵も参加し、来訪者から三好市の地酒の関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【杯重ねこぼれる笑顔 三好で四国酒まつり(徳島新聞平成31年2月24日)】

四国4県の地酒が二ド「阿波十割」など、比べていた。地酒好き
 事に集まる「四国酒まつり」(実行委主催)
 が23日、三好市池田町で開かれ、県内外から訪れた大勢の愛好者でにぎわった。
 試飲会場が池田町マチのサンライズビルに設けられ、過去最多の77銘柄、87種類がそろった。来場者はおちょこを手にも、県産の酒米で醸造した地酒ブランド

杯重ねこぼれる笑顔
 三好で四国酒まつり
 2019.2.24(日)

類さんのラジオ番組の公開収録もあった。初めて訪れた高谷英二さん(66)は「徳島市末広4」は「たくさんの種類を飲めて楽しかった」と笑顔だった。今小町や三芳菊(いずれも池田町)、芳水(井川町)の酒蔵も無料開放された。試飲会場近くの本町通り周辺では、関連イベントとして雑貨や食品を販売するうだつマルシェが催され、74ブースが並んだ。第2回以降のマルシェの様子を収めた写真約90枚を展示し、元市地域おこし協力隊員ら4人が写真を示しながら、移住希望者や都内の大学生に町の歴史や魅力を解説した。両イベントは20回目。(檀本恵)

日本酒ファンでにぎわう試飲会場
 三好市池田町マチのサンライズビル

評価軸⑤-8
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	評価対象年度	平成30年度
三好の魅力 鮮やかに	H31.3.23	掲載紙等	徳島新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致維持向上計画に基づく事業及び関連する取り組みについて紹介され、当イベントでは、普段見慣れた観光スポット以外の写真も多く応募されるため、観光客のみならず市民の関心も高く、毎年開催するたびに応募数も多く関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	歴史的風致維持向上計画や計画に基づく関連事業について、広く理解や協力を得るための有効手段として報道機関に対し、積極的な情報提供を行うことが必要。

状況を示す写真や資料等

【三好の魅力 鮮やかに(徳島新聞 平成31年3月23日)】

2019年(平成31年)3月23日 土曜日

三好の魅力 鮮やかに

フォトコンテスト入賞34点選出



最優秀賞に輝いた篠原さんの「秋の秘境」

「秋の秘境」は昨年11月8日、祖谷のかずら橋で撮影された。橋の周囲が紅葉で鮮やかな色づき、下を流れる祖谷川に青空が映り込んでいる。この瞬間に訪れた家の宮武健仁さんは、「水面に映った橋のシルエットが美しく、構図も素晴らしい」と評価した。

最優秀 篠原さん(愛媛) 次点 佐竹さん(三好)

三好市の風景や伝統芸能、イベントの観光写真を募った「千年のかくれんぼフォトコンテスト」の入賞作34点が決まった。最優秀賞に、愛媛県四国中央市の篠原安吉さん(75)の「秋の秘境」が選ばれた。



次点の第1席に選ばれた佐竹さんの「冬晴れの朝」

「冬晴れの朝」は昨年2月14日に剣山頂上で撮影した作品で、樹氷と青空の間に雲海が広がり、二重の虹が懸かる瞬間をとらえた。

第2席は松山市の芝崎静雄さん(70)、第3席は四国中央市の佐伯登さん(73)の作品に決まった。この他に入選10点、奨励賞20点が選ばれた。

入賞作は4月下旬まで、三好市西祖谷山村の観光施設・かずら橋夢舞台で展示。市のPRポスターやパンフレット、ホームページなどでも活用する。

コンテストは6回目。12府県の1万7千人が昨年1月から今年1月までに三好市で撮影した564点を応募した。(川辺健太)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

項目	評価対象年度	平成30年度
----	--------	--------

文化財の魅力向上に繋がる取り組み

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

◎伝統的町並み周辺での地域おこしイベントの実施/歴史的風致維持向上計画の重点区域である三好市池田町の本町筋周辺には、刻みたばこ産業で栄えた名残を留めた伝統的な町並みが残っているが、数年前より、歴史的で文化的な空間を活用したイベント「うだつマルシェ」が地元NPO法人や町おこしグループなどによって定期開催されている。過疎化等で衰退していた町並みにスポットが当てられ、観光PRや交流人口拡大を図るイベントとして効果を上げている。平成30年度事業においても、イベント会場において、多くの参加者がマルシェを楽しむだけでなく、市指定文化財「真鍋家住宅」(阿波池田たばこ資料館)を見学し、館内では刻み煙草の美演を公開するとともに、たばこに関する講演会を開催し、文化財の魅力向上を図った。

開催日: ●うだつマルシェ 平成31年2月23日

◎歴史的建造物活用まちづくりシンポジウム&まちあるき/三好市には、タバコ産業で栄えた「うだつの町並み」が池田町と井川町がある。双方とも富を得た商家が、防火目的に備えた袖壁(うだつ)を特徴とした建造物が多く立ち並んでいる。袖壁以外にも、意匠に凝った箇所が見られるなど、家々の個性も見られる。また建造物を取り囲む環境などにも違いが見られることから、地域の住民と勉強会を行うなど、三好市の魅力向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	周辺にある文化財や文化資源をよりイベント参加者にも親しんでもらえるように、イベント関係者との情報交換などが必要。

状況を示す写真や資料等

【「うだつマルシェ」伝統的なまちづくりを活かしたイベントの様子(平成31年2月23日開催)】



【歴史的建造物活用まちづくりシンポジウム&まちあるき(平成31年3月24日開催)】



評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和元年度三好市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和元年度5月10日(金)10:30~16:00	
(コメントの概要)	
<p>●平成30年度の進捗評価及び総括評価に対する各委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観計画の活用について、重点区域内ではガードレール背面古色塗など、工夫がされているが、主に文化財エリア内であるため、今後は周辺の景観対策も考えていかななくてはならない。 ・山下家別邸については、今年度公有化となり、来年度以降事業として進めていくようだが、市民の意見を取り入れた保存活用計画を策定してから進めていただきたい。また、活用の方法についても関係課と連携して計画していただきたい。 ・普及啓発事業では、本年度は三好市の各旧6町村それぞれの歴史や文化等について、ガイド養成講座があり、参加者からは満足した声が多く聞かれた。しかし、人数制限があったため受けなかった方も多くいたと聞いている。時間と場所も問題もあるだろうが、ひとりでも多くの人が参加できる体制を作してほしい。 ・30年度では、武家屋敷「旧喜多家住宅」の茅葺屋根のすべての葺き替えが行われたが、今後も葺き替えは多くなると思われる。刺し茅などのメンテナンスを定期的に行うような計画を立ててコストを下げられるような計画をあげてほしい。 また、今回の「旧喜多家住宅」をはじめ、祖谷地区には多くの茅葺屋根古民家があることから、防火防犯体制についても、再度見直しが必要と考えられる。 ・「祖谷の蔓橋」の架け替え材料である、シラクチカズラの苗木づくりが、ここ2~3年で香川大学専門部との協定や、新たな植樹箇所の整備など、活発に動きが出ている。ひきつづき活動をおこなっていただき成果を出していただきたい。 ・昨年度も同じことを意見したが、この事業を進めていくには各課との連携なしでは、事業継続は難しい。また歴史的風致の維持及び向上は困難である。職員数が減少し厳しいとは思いますが、情報収集を各課行い連携し、事業を進めていただきたい。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・今回の委員からコメントを頂き、組織体制の連携を更に強め事業に取り組んでいく必要がある。連携強化には市民や他団体の協力が必要であることも重要であることから、事業の実施には、各事業ごとに関係する課及び市民団体で協議を進めながら行っていきたい。 ・第1期計画では、茅葺屋根建造物の復元及び修理が重伝建地区をはじめ9棟行われてきた。このことから防火防犯の管理体制を見直しするとともに、見回り・点検等の充実をはかっていく。 	